

# 掲示板 上げ下げ式

# 施工要領書

このたびは当社の商品をご採用いただきましてありがとうございます。

商品の施工には、この「施工要領書」をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

注意事項は、商品の性能・機能、強度および安全性を確保する上での重要な内容です。

施工の際は必ずお守りください。

施工は専門業者様が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

電気工事は、電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合、必ず電気工事店様へご依頼ください。

➡・同梱されている「取り扱い説明書」およびラジェットハンドル<sup>※</sup>、キーは、必ずお客様へお渡しください。

お渡しの際は「取り扱い説明書」に基づき、商品の使い方、保守・点検方法、メンテナンス方法を

必ずお客様へ説明してください。 ※ 調整バランスターの開閉力を調整する部品

## 設置上の注意事項

- 掲示板以外への転用や改造は行わないでください。
- 塀などに隣接して設置する場合には、風のあおりにより掲示板が接触するのを防止するため、掲示板と塀との間隔を10cm以上あけてください。
- 照明付きの場合、正面（掲示面）に向かって右側に配線および結線を行ってください。
- 母屋の屋根からの雪が直接落ちる場所には設置しないでください。落雪により商品が破損するおそれがあります。
- 地下埋設物（給排水管など）に影響をおよぼさないように柱位置を決めてください。
- 給湯・暖房などの燃焼機器の排気ガスまたは車の排気ガスが直接商品に当たったり、滞留しないように設置してください。塗膜の剥れなどの表面異常が発生するおそれがあります。

## 施工上の注意事項

- 指示してあるボルトやねじをすべて確実に締めてください。ねじは止める面に対し傾かないよう垂直に取り付けてください。
- 指定の部品やオプション品以外は使用しないでください。
- 基礎は当社指示寸法以上にしてください。
- 基礎はコンクリートを用いて施工してください。
- コンクリートやモルタルの養生期間は十分（4日～7日）にとり、養生期間中は重い物をおいたり、振動させたりしないよう、お客様や他の工事業者様にお願いするか、その旨の注意表示をしてください。
- 基礎用のコンクリートやモルタルに海砂を使用しないでください。塩分による腐食の原因となります。また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
- アルミ部材の表面に付着したコンクリートやモルタルなどの汚れは、速やかに取り除いてください。
- 支柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れたあとに支柱を立てると、支柱内部に水がたまり凍結破壊の原因となります。また、支柱内部の水が排出できない場合は、G.Lライン上部のアルミ部材にφ5mm程度の水抜き穴をあけてください。
- 電気工事完了後、お客様へ引き渡す前に通電し作動確認を必ず実施して問題ないことを確認してください。
- 重量物のため、自立タイプは2人以上、壁付けタイプは3人以上で扱うなど、施工には十分ご注意ください。
- 施工後、ボルトやねじ類にゆるみやガタつき、また使用上危険な箇所や汚れなどが点検してください。
- 作業終了後の商品にキズ、ヘコミなどが点検してください。

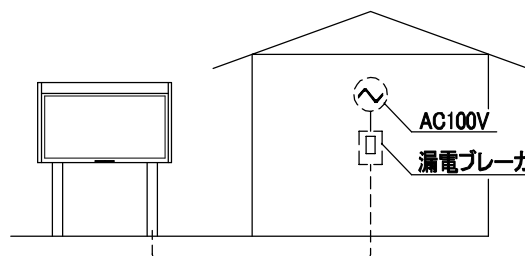
## <自立タイプ>

### ■取り付け施工店様

- 1. 支柱の取り付け .....P 5
- 2. 基礎コンクリート .....P 5
- 扉の作動調整 .....P 7
- 目板の取り付け ..... P 10

### ■電気工事店様

- 照明付き・自立タイプの配線および結線 ..... P 8
- 目板の取り付け(主電源との結線) ..... P 10



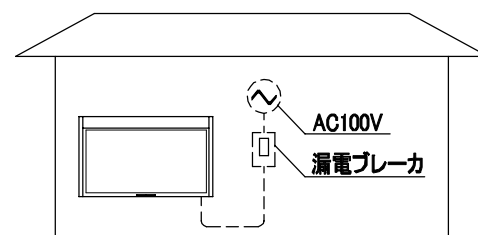
## <壁付けタイプ>

### ■取り付け施工店様

- 1. 壁面への取り付け .....P 6
- 扉の作動調整 .....P 7

### ■電気工事店様

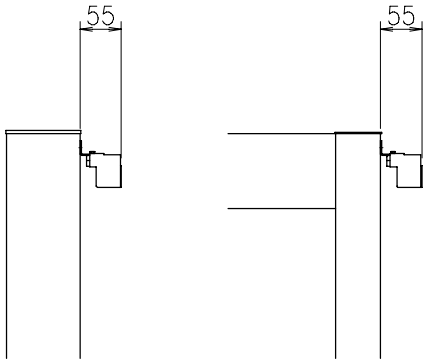
- 照明付き・壁付けタイプの配線および結線 .....P 9



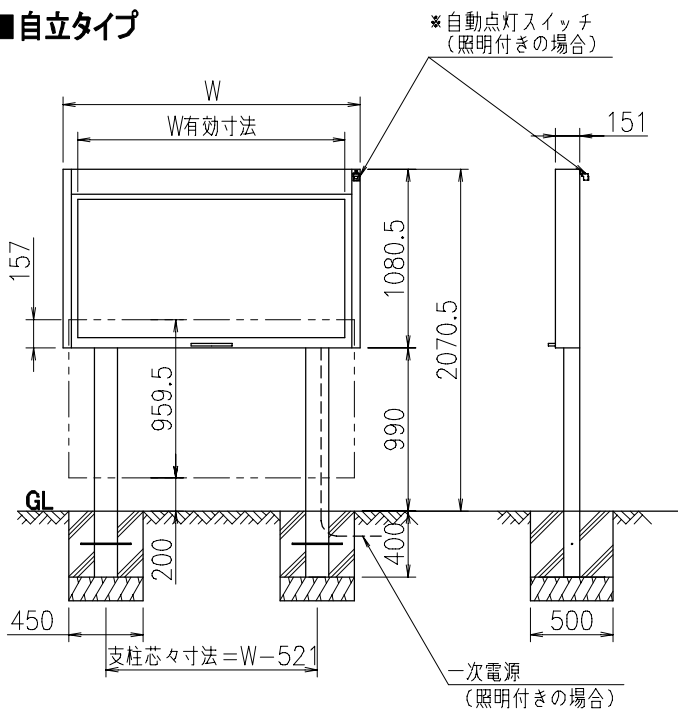
# 規格寸法表

## ■ 共通

・自動点灯スイッチ  
(自立タイプの場合) (壁付けタイプの場合)



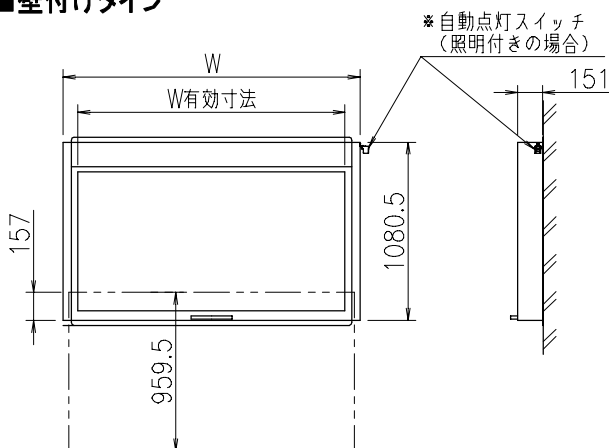
## ■ 自立タイプ



※照明付きの場合、正面(揭示面)に向かって右側に配線および結線を行います。

| サイズ  | W    | W有効寸法 | 照明付き     |
|------|------|-------|----------|
| 1210 | 1202 | 1020  | 20ワット形×1 |
| 1510 | 1502 | 1320  | 20ワット形×1 |
| 1810 | 1802 | 1620  | 40ワット形×1 |

## ■ 壁付けタイプ



※照明付きの場合、正面(揭示面)に向かって右側に配線および結線を行います。

| サイズ  | W    | W有効寸法 | 照明付き     |
|------|------|-------|----------|
| 1210 | 1202 | 1020  | 20ワット形×1 |
| 1510 | 1502 | 1320  | 20ワット形×1 |
| 1810 | 1802 | 1620  | 40ワット形×1 |

# 梱包内容

□開梱時に種類と数量を確認してください。(部品袋の内容も確認してください)。

□商品に破損や異常がないか確認してください。

□開梱後、商品にキズをつけないように保管してください。

□万一商品に破損や異常がある場合、部品が不足している場合は、販売店様または当社までご連絡ください。

## ■本体セット

| 規格記号             | 組立品     |          | 部品        |    |                        |                          |                          |
|------------------|---------|----------|-----------|----|------------------------|--------------------------|--------------------------|
|                  | 本体(自立用) | 本体(壁付け用) | ラジェットハンドル | キー | マグネット                  | 壁面取付金具<br>(12・15用)       | 壁面取付金具<br>(18用)          |
| PKA-UB-1□10■(-L) | 1       | -        | 1         | 2  | ※■:Bの場合 8<br>※■:Pの場合 - | -                        | -                        |
| PKA-UB-1□10■K    | -       | 1        | 1         | 2  | ※■:Bの場合 8<br>※■:Pの場合 - | ※□:2.5の場合 2<br>※□:8の場合 - | ※□:2.5の場合 -<br>※□:8の場合 2 |
| PKA-UB-1□10■K-L  | -       | 1        | 1         | 2  | ※■:Bの場合 8<br>※■:Pの場合 - | ※□:2.5の場合 2<br>※□:8の場合 - | ※□:2.5の場合 -<br>※□:8の場合 2 |

| 規格記号             | 部品       |      |                            |            |               |          |
|------------------|----------|------|----------------------------|------------|---------------|----------|
|                  | 側枠キャップ:上 | シーラー | 小ねじ皿                       | 小ねじトラス     | タッピンねじ2種なべ    | 自動点灯スイッチ |
|                  |          |      | <br>5×15×10                | <br>4×10×8 | <br>4×25×7-G5 |          |
| PKA-UB-1□10■(-L) | -        | -    | -                          | -          | -             | -        |
| PKA-UB-1□10■K    | -        | -    | ※□:2.5の場合 12<br>※□:8の場合 16 | -          | -             | -        |
| PKA-UB-1□10■K-L  | 1        | 1    | ※□:2.5の場合 12<br>※□:8の場合 16 | 1          | 2             | 1        |

| 規格記号             | 部品    |       |
|------------------|-------|-------|
|                  | 施工要領書 | 取扱説明書 |
|                  |       |       |
| PKA-UB-1□10■(-L) | 1     | 1     |
| PKA-UB-1□10■K    | 1     | 1     |
| PKA-UB-1□10■K-L  | 1     | 1     |

## ■支柱セット

| 規格記号      | 形材 |    | 部品       |      |          |      |            |               |
|-----------|----|----|----------|------|----------|------|------------|---------------|
|           | 支柱 | 目板 | 側枠キャップ:上 | シーラー | 自動点灯スイッチ | アンカー | 小ねじトラス     | タッピンねじ2種なべ    |
|           |    |    |          |      |          |      | <br>4×10×8 | <br>4×25×7-G5 |
| PKA-UH    | 2  | 4  | -        | -    | -        | 2    | -          | -             |
| PKA-UH-FE | 2  | 4  | 1        | 1    | 1        | 2    | 1          | 2             |

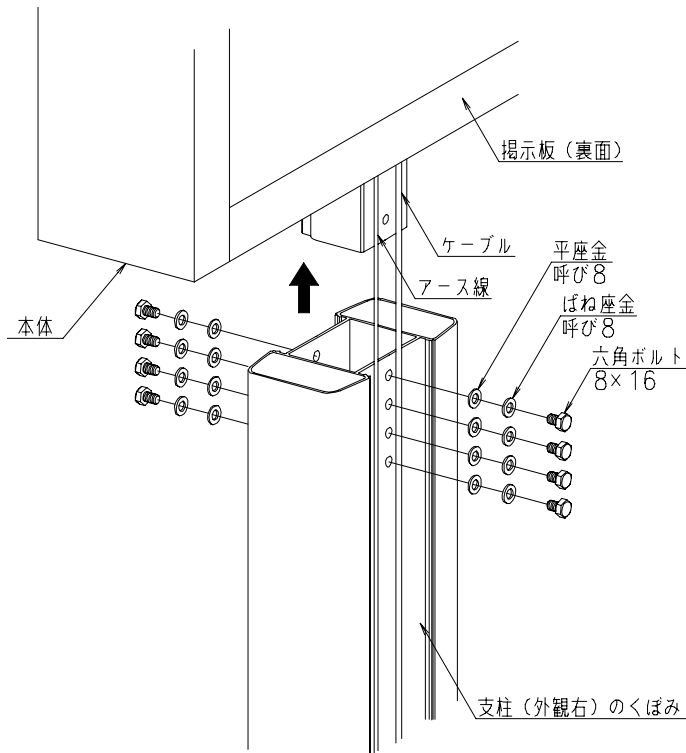
| 規格記号      | 部品       |         |         |
|-----------|----------|---------|---------|
|           | 六角ボルト    | 平座金     | ばね座金    |
|           | <br>8×16 | <br>呼び8 | <br>呼び8 |
| PKA-UH    | 16       | 16      | 16      |
| PKA-UH-FE | 16       | 16      | 16      |

# 施工手順(自立タイプ)

## 1 支柱の取り付け

① 本体に支柱をボルトで取り付けてください。

※ 外観右側の支柱を取り付ける際は、支柱コード、アース線を支柱のくぼみに添わせて支柱を挿入してください。



※ 照明付きの場合は、支柱を取り付ける際に各配線をつぶさないようにしてください。

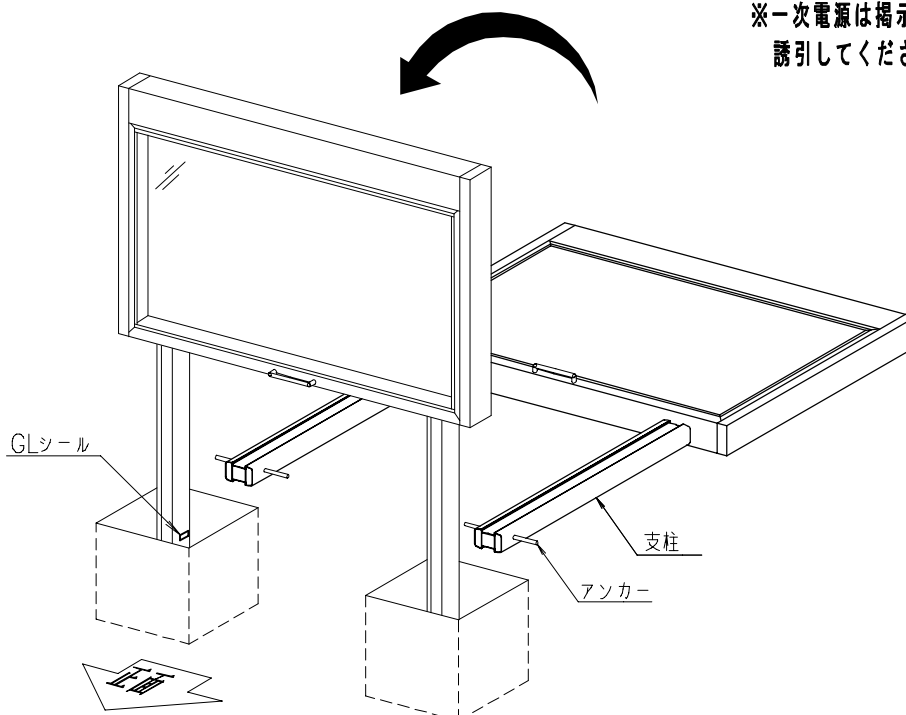
## 2 基礎コンクリート

① 支柱にアンカーを差し込んでください。

② 提示板の水平垂直を確認し、本体を仮固定してください。

③ コンクリート打ちを行います。

コンクリートの高さはGLシールを目安にしてください。



※ 一次電源は提示板に向かって右側に誘引してください。

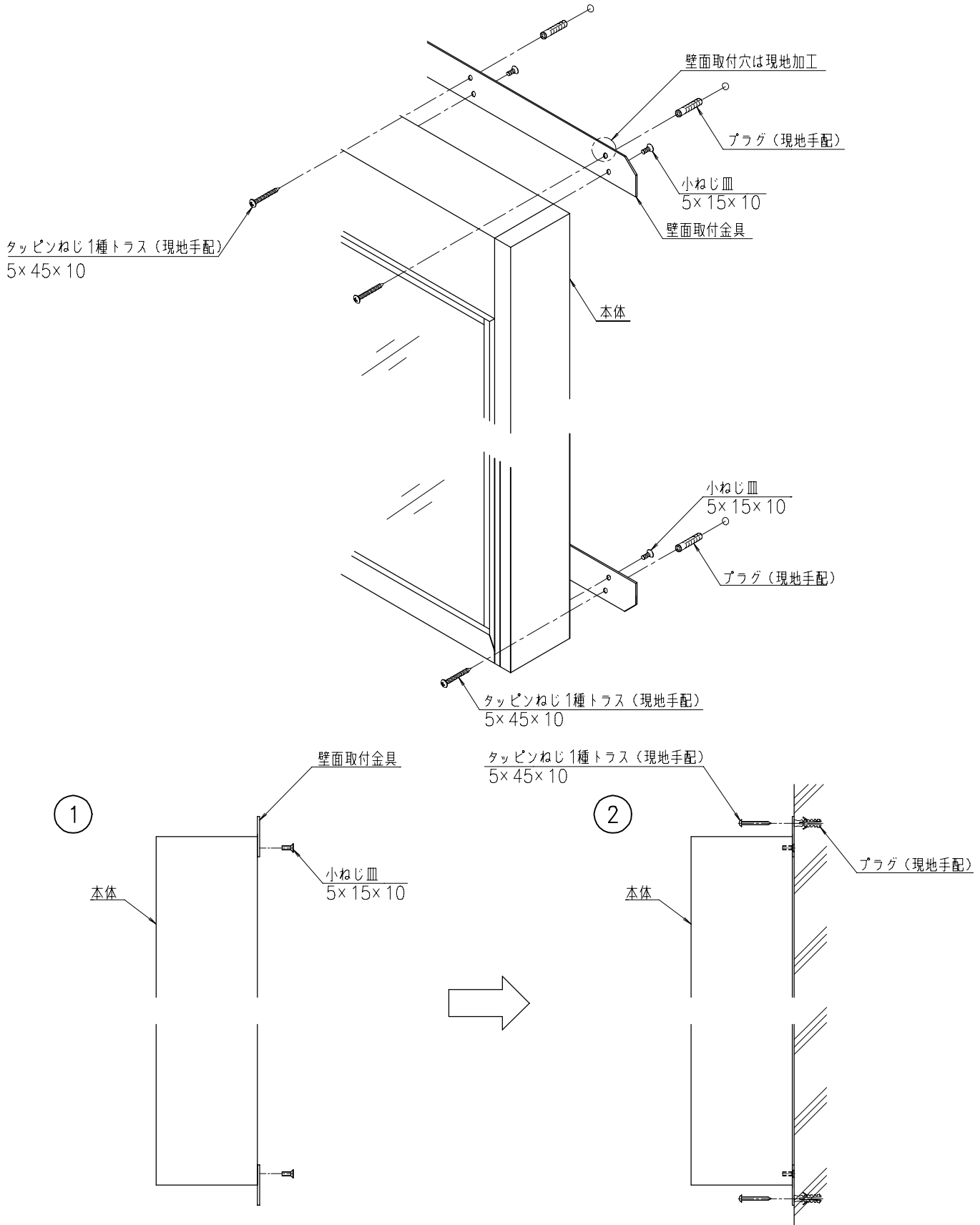
# 施工手順(壁付けタイプ)

## 1 壁面への取り付け

①本体の上下枠に壁面取付金具を取り付けてください。

②コンクリート壁取り付けの場合、壁面にプラグを打ち込み、本体を壁面に固定してください。

※他の壁面の場合、壁面に応じた固定方法で取り付けてください。(プラグ、タッピンねじは現地にて手配してください。)

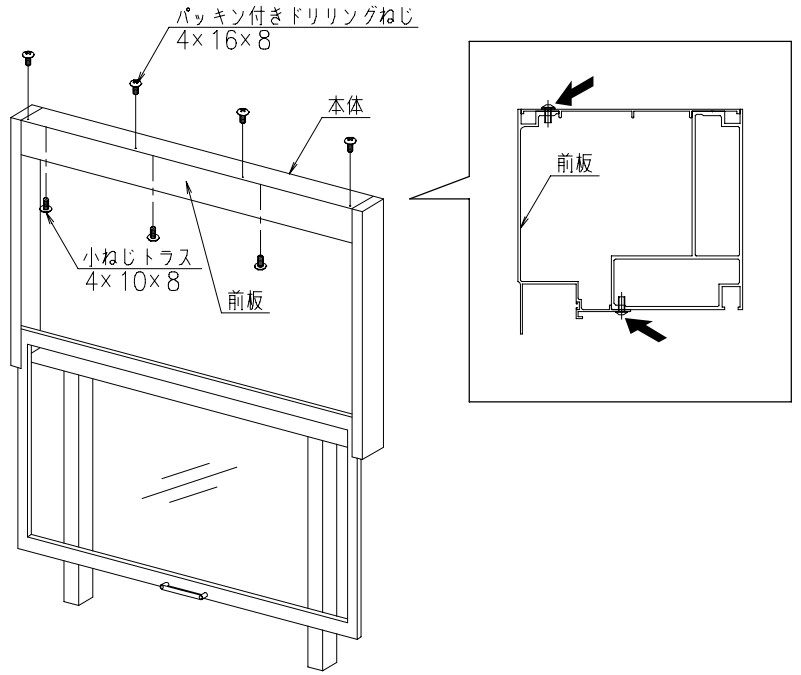


➡ 壁は、コンクリートまたは中空部を全てモルタル詰めしたコンクリートブロック造としてください。  
上記以外の壁に取り付けるとねじが抜け、商品が落ちるおそれがあります。

# 扉の作動調整

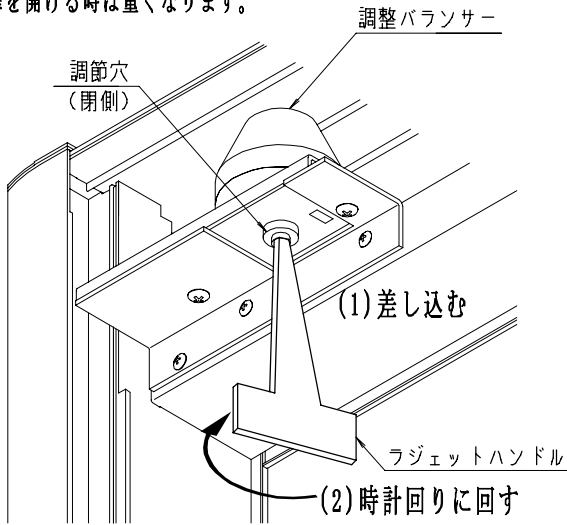
●扉を開く時、または閉める時の動きが重くなった場合  
以下の要領で調整してください。

- ① 本体の扉を下げ、前板のねじをはずして前板を取りはずしてください。
  - ② ラジェットハンドルを調整穴に差し込み、下図のように回して調整してください。
- ※扉の重さが左右均等になるように調整してください。  
※調整バランスーは左右で回す方向が逆になりますので注意してください。
- ③ 扉がスムーズに開閉できるか確認してください。
  - ④ 前板を「①」で外したねじで本体に取り付けてください。

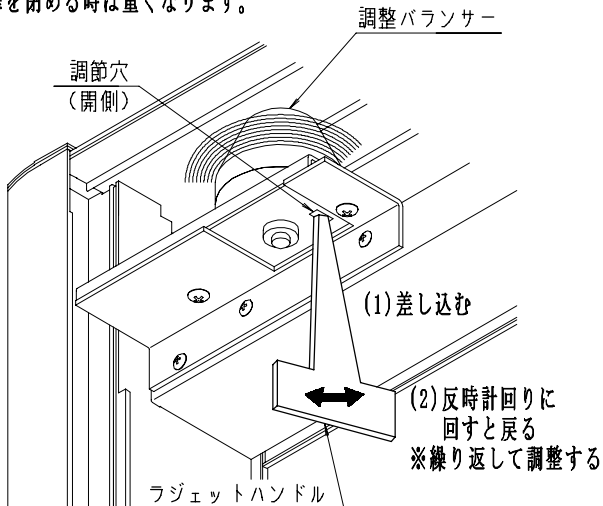


## 左側の調整

扉を閉める時に軽くする場合  
※扉を開ける時は重くなります。

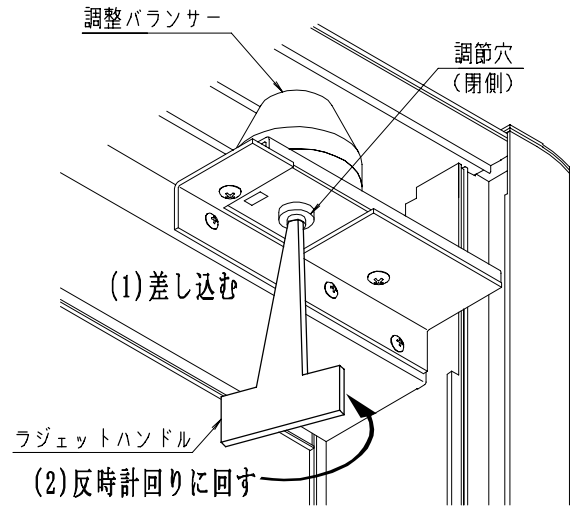


扉を開ける時に軽くする場合  
※扉を閉める時は重くなります。

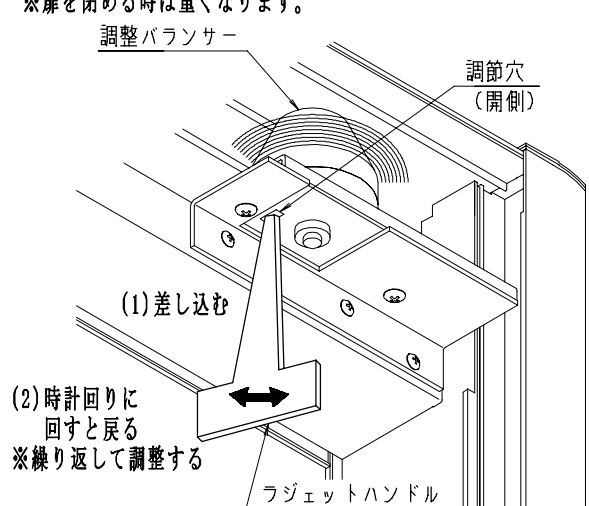


## 右側の調整

扉を閉める時に軽くする場合  
※扉を開ける時は重くなります。



扉を開ける時に軽くする場合  
※扉を閉める時は重くなります。



※ここからは電気工事となります。電気工事店様にご依頼ください。

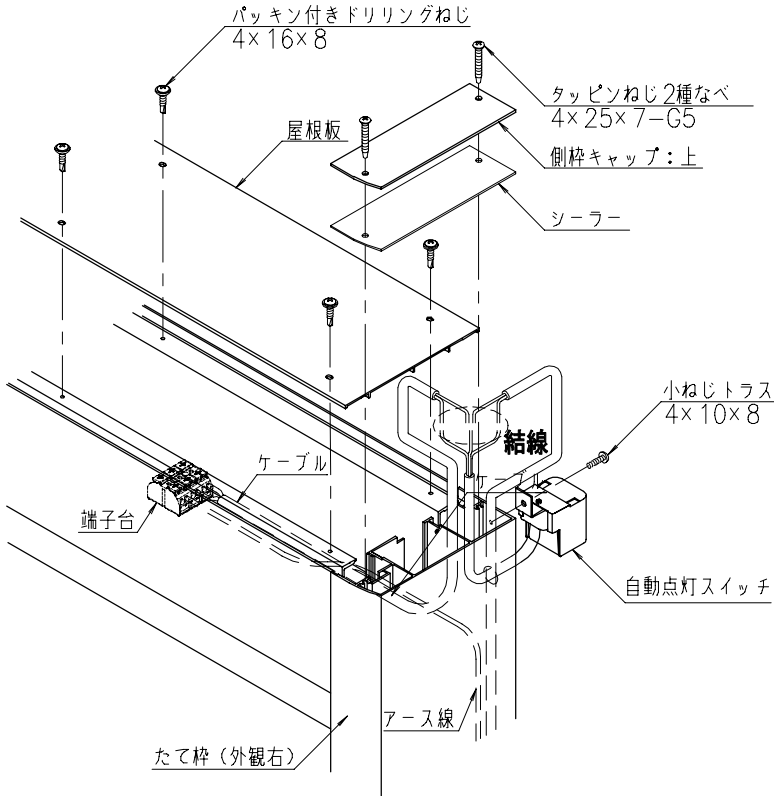
## 照明付き・自立タイプの配線および結線

①屋根板を取りはずし、結線してください（下記配線図参照）。

※結線部は防水・絶縁処理を行ってください。

②自動点灯スイッチを取り付けてください。

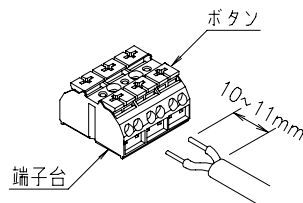
③各配線をたて枠（外観右）内に挿入し、屋根板、側枠キャップをねじ止めしてください。



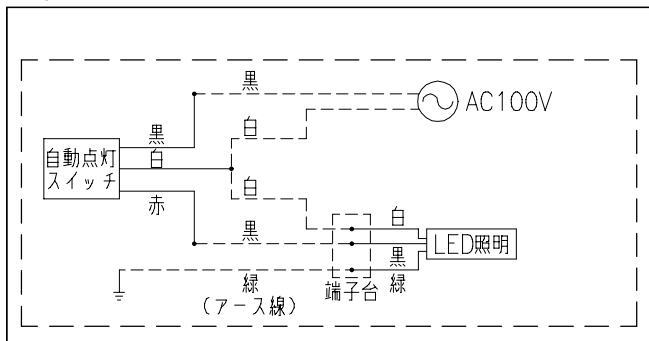
※配線しにくい場合は端子台を掲示板からいったん取りはずし、配線後、端子台を取り付けてください。

### ●ケーブル、アース線の端子台への取り付け方法

- ・ケーブル・アース線（単線）は、むき出して差し込むと取り付けることができます。



## 配線図



※結線は必ず電気工事店様にご依頼ください。

➡電源電圧（AC100V）以外での電源は使用しないでください。

規定外の電圧にすると、照明または自動点灯スイッチが破損するおそれがあります。

※万一漏電した場合でも火災にならないよう、電源は必ず漏電ブレーカ付きの電源を使用してください。



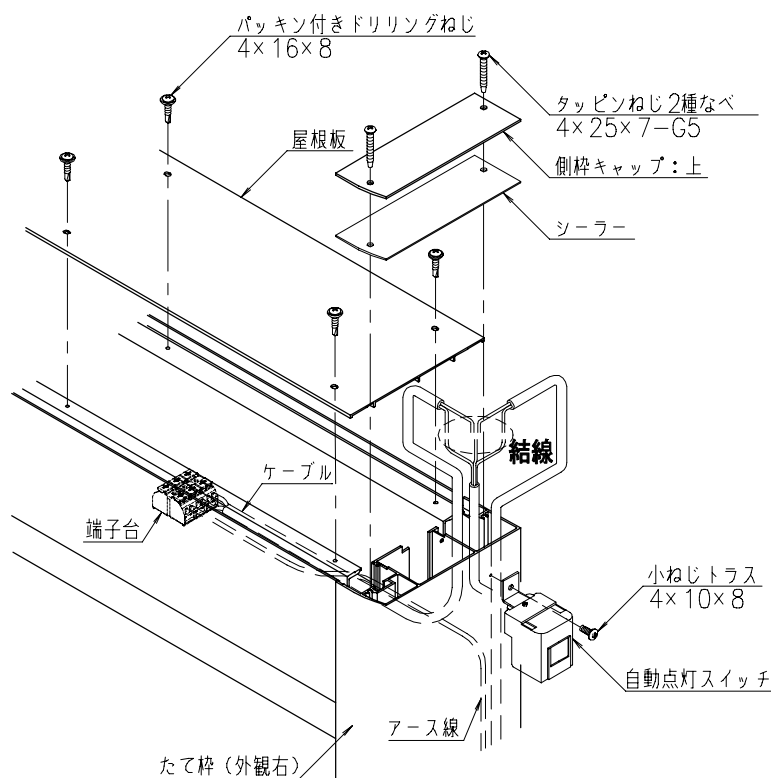
## 照明付き・壁付けタイプの配線および結線

①屋根板を取りはずし、結線してください（下記配線図参照）。

※結線部は防水・絶縁処理を行ってください。

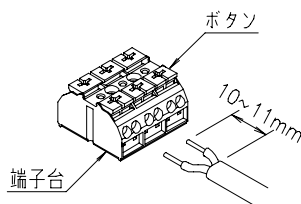
②自動点灯スイッチを取り付けてください。

③各配線をたて枠（外観右）内に挿入し、屋根板、側枠キャップをねじ止めしてください。



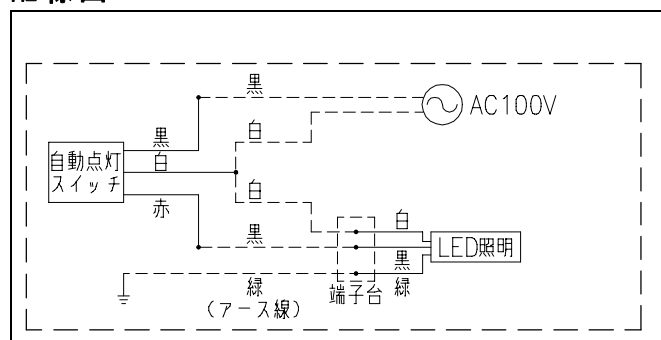
### ●ケーブル、アース線の端子台への取り付け方法

- ・ケーブル・アース線（単線）は、むき出して差し込むと取り付けることができます。



※配線しにくい場合は端子台を掲示板からいったん取りはずし、配線後、端子台を取り付けてください。

## 配線図



※結線は必ず電気工事店様にご依頼ください。

➡電源電圧（AC100V）以外での電源は使用しないでください。

規定外の電圧にすると、照明または自動点灯スイッチが破損するおそれがあります。

※万一漏電した場合でも火災にならないよう、電源は必ず漏電ブレーカ付きの電源を使用してください。

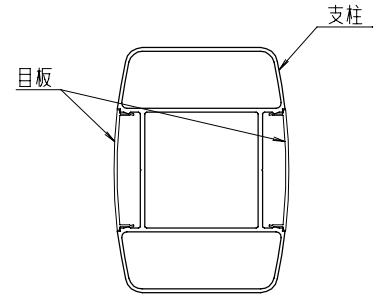
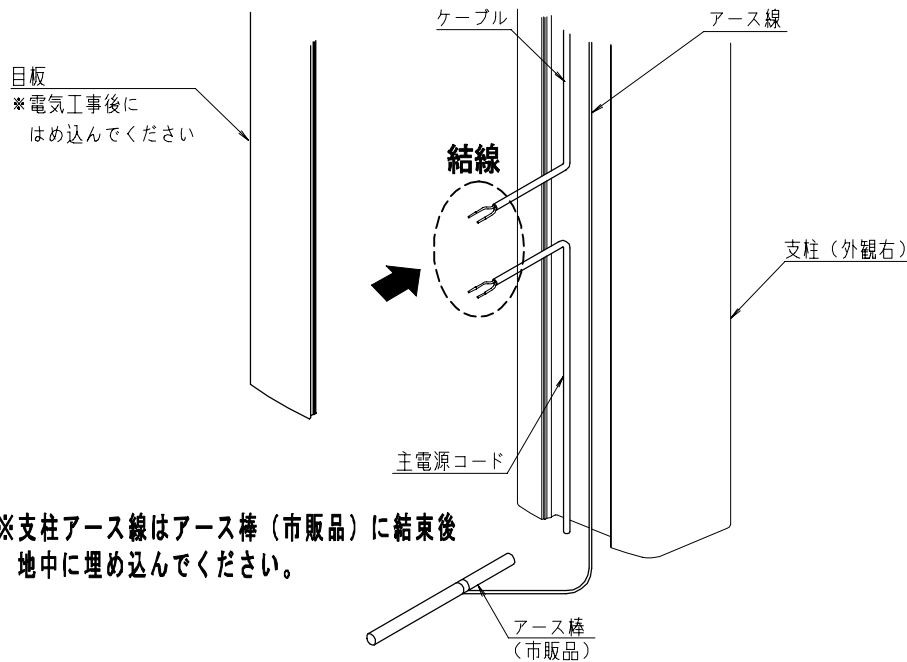
## 目板の取り付け

<照明付きの場合>

・主電源と結線してください。

※結線部は防水・絶縁処理を行ってください。

・目板を取り付けてください。右図に示すように、目板と支柱のかん合は確実に行ってください。



目板と支柱のかん合要領

※支柱アース線はアース棒（市販品）に結束後  
地中に埋め込んでください。

※配線を通す箇所の目板（右側支柱・裏面）のみ電気工事後に、はめ込んでください。

※目板を取り付ける際に配線がつぶれないよう注意してください。

株式会社 カシイ

第2版 2022年1月改訂  
(第1版 2021年1月発行)

本社 〒939-3548 富山県富山市三郷18番地

東京支店 〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目10番4号 新宿1丁目ビル5階

大阪支店 〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1丁目9番15号 近畿富山会館ビル8階

TEL(076)478-5113 FAX(076)479-9190

TEL(03)6380-6150 FAX(03)6380-6359

TEL(06)6147-3151 FAX(06)6147-3152